

おおさき 議会だより



新1年生の登校風景（中沖小学校）

3月定例会

● こんなこと決めました

平成 29 年度当初予算	2
当初予算・補正予算	3
条例	4
条例等／人事案件	5

● 町政を問う（一般質問）	6
● 議会のうごき	10
● 新しい議会の構成他	11
● 町民の広場・編集後記	12

4995万5千円

平成29年度 一般会計当初予算 76億2918万3千円

《平成29年度の新規事業及び歳出の主なもの》

- 水槽付消防ポンプ自動車(新規) 総務課 3200万円
※野方分団の消防車を更新するもの
- ふれあいの里公園遊具施設改修工事(新規) 建設課 2400万円
- 特産品PR業務委託料(新規) 企画調整課 1620万円
※本町の特産品について、認知度の向上を図るため、知名度の高い料理人にPRを行うための経費
- 大崎町中学校入学援助金(新規) 教育委員会管理課 330万円
※入学援助金を1人当たり30,000円支給するもの
- こんにちは赤ちゃんギフト事業記念品(新規) 保健福祉課 140万円
※出産祝いとして、子育てに必要なグッズを送るもの
- 木造住宅耐震改修工事補助事業(新規) 建設課 90万円
- ブックスタート事業記念品(新規) 社会教育課 22万円
※絵本を媒体として親子のふれあいを促すため、絵本の支給を行うもの
- ふるさと納税謝礼 5億円
- 道路改良舗装工事(4路線) 1億7200万円
- 子ども医療費助成金 3600万円
- 農業用施設整備工事 3430万円
- 学校給食費補助金 1100万円

予算総額 124億

平成29年度 特別会計当初予算

国民健康保険事業特別会計予算	24億9940万3千円
後期高齢者医療特別会計予算	1億7161万7千円
介護保険事業特別会計予算	17億1978万2千円
水道事業会計予算	2億3007万1千円
公共下水道事業特別会計予算	1億9989万9千円

3月補正予算の主なものは、下記のとおり!!

建物購入費

3415万1千円

大崎中学校に隣接する町有地に建設されている地域優良賃貸住宅『シャルム文化通』に係る建物購入費であり、国庫補助金の決定に伴い補正するものです。

大丸小学校校舎等大規模改造工事

3億2656万1千円

国の平成28年度補正予算で補助事業が採択されたことから、今回補正予算に計上するものです。なお、工事については平成29年度に着工する予定です。

施設型給付費

2633万円

保育園の運営費（施設型給付費）の実績見込みに伴い補正するものです。

ふるさと納税謝礼

2億1623万1千円

ふるさと納税促進事業の実績見込みに伴い補正するものです。

決めました！

条例等の主なもの

●大崎町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、大崎町職員の育児休業等に関する条例の整備を行うため一部改正を行うものです。

●大崎町個人情報保護条例の一部改正

行政手続きにおける特定の個人を選別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、法律の趣旨に沿って大崎町個人情報保護条例の一部改正を行うものです。

●大崎町町税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い大崎町町税条例等の一部改正を行うものであり、軽自動車税の環境性能割の導入時期等が変更になったことに伴う規定の整備が主なものです。

●大崎町地域優良賃貸住宅基金条例の制定

平成28年度に整備した大崎町地域優良賃貸住宅の大規模な修繕等に要する財源を確保するための基金を設置するに当たり、必要な事項を定めるため条例を制定するものです。

●大崎町公民館の設置及び管理に関する条例の全部改正

公民館利用者の利便性がより一層高まるように、大崎町公民館の設置及び管理に関する条例の使用料やその他の事項の改正及び追加を行うため、本条例の全部改正を行うものです。使用料については、これまで、半日、全日、夜間で定めていたものを、これまでの公民館の利用状況を考慮して、1時間単位に改めるものです。

※中央公民館及び中沖地区公民館の使用料については、次のとおりとなります。

施設使用料

区分	使用料（1時間当たり）				
	昼間	夜間	冷暖房		
中央公民館	会議室	270円	270円	540円	
	視聴覚室	270円	270円	540円	
	生活研修室	270円	270円	540円	
	料理講習室	270円	270円		
	大ホール	入場料を徴しない場合	平日	1,620円	冷房 1,620円
			土・日・祝日	2,430円	
大ホール	入場料を徴する場合	平日	2,700円	暖房 1,080円	
		土・日・祝日	4,050円		4,050円
中沖地区公民館	集会室	540円	540円	1,080円	
	日本間	270円	270円	540円	
	会議室	160円	160円	320円	
	料理講習室	270円	270円		

「昼間」とは午前8時30分から午後5時まで、「夜間」とは午後5時から午後10時まで

2017年
3月定例会
3月1日～
3月16日

こんなこと

●大崎町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

介護保険法施行令の改正による指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の見直しにより、地域密着型通所介護の創設が行われたことに伴い、本町条例の見直しが必要となったため、本条例の一部を改正するもので、これまで県が指定していたデイサービスの定員18人以下の事業所及び療養デイサービスの定員9人以下の事業所については、町が指定することとなったものです。

●訴えの提起について

昭和44年度に実施した県営シラス対策事業において、排水路等の用地として買収した土地の所有権移転登記が出来ず今日に至っている状況であることから、所有権移転登記手続きを求める訴えを提起することについて、議会の議決を求めるものです。

なお、平成29年3月下旬までに法定相続人と所有権移転登記手続きの同意協議を行い、同意が得られなかった場合には、法定相続人を訴訟の相手方とするものです。

教育委員会委員を同意

教育委員会委員の任期が満了となったことから、再任に同意しました。



住所 野方5977番地2
氏名 林 さつき 氏(52歳)

平成29年第1回臨時会 5月1日

●大崎町農業委員会委員の選考委員会の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定

平成29年4月3日付で行われたそお鹿児島農業協同組合の組織機構の改定に伴い、本条例の見直しが必要となったことから、一部改正を行うものです。

●大丸小学校校舎等大規模改造工事請負契約の締結について

契約目的 大丸小学校校舎等大規模改造工事
契約金額 2億3760万円
契約の相手 久徳建設株式会社

一般質問

町政を問う

稲留光晴 議員

P 7

- ・ 施政方針について
- ・ 大崎第一中学校跡地について
- ・ 松本商会工場一時休業について
- ・ 定住化推進のための住宅政策について

吉原信雄 議員

P 8

- ・ 次期町長選に対する出馬について
- ・ 畜産技術員の継続的な養成・確保策について
- ・ 中央運動公園の今後の活用方策について

中山美幸 議員

P 9

- ・ 自然災害に対する防災対策について
- ・ ふるさと納税について

議会を傍聴してみませんか!!

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴人名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。議会を傍聴することは、町政を知るよい機会です。

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）行なわれます。

また、一般質問のある日程のときは、事前に防災無線でもお知らせしています。どうぞお気軽にお越しください。

次回の定例会は6月です。

圃場整備はどうすすめるか

推進委員会を設置し整備すすめる



稲留 光晴 議員

本町の長年の課題である圃場整備をどうすすめていくか。

推進委員会を設置し整備をすすめる

町長

圃場整備事業の早期かつ円滑な実現を推進するため委員会を設置し、未整備地域関係者と議論を重ね方針を明確にしている。

地元企業の人材確保をどうすすめるか

稲留議員

地元企業は人材確保や後継者づくりにも苦勞している。行政としての支

援策を具体的に示せ。

積極的に情報発信に取り組む

町長

企業、学校、保護者との意見交換などを行い、新年度においては中学生に地元企業紹介の冊子を作成配布し、将来の就職先として選んでもらうよう情報発信に取り組む。

国保財政の厳しさにどう対策を講じるか

稲留議員

30年度から国民健康保険事業は県へ連合化されるが住民負担の増加が懸念される。従来通り法定外繰入をして、負担軽減策を十分検討しなければならぬがどうか。

被保険者の健康維持、増進図り、医療費削減する

町長

国保データヘルス計画を基に、特定検診、CKD慢性腎臓病予防教室などに取り組み、特定保健指導や被保険者の健康保持・増進を図り、医療費を削減し、負担軽減していく。

松本商会はなぜ一時休業したのか

稲留議員

旧大崎第一中学校跡地への松本商会の工場は、操業何カ月もたっていないのになぜ休業しなければならなかったか。

社長が自損事故をおこしたためである

町長

社長が退院後しばらく

療養するため、ポリフィルム加工の継続が不可能になった。

社長が入院したら工場が休業するのか

稲留議員

普通の工場経営者は工場長を置き、工場長は生産管理を行い、現状を監督するものである。今回4人が解雇されている。社長が入院したら工場が休業するのか。

従業員への加工技術が確立されていなかった

町長

町内にある企業であれば工場長がいて体制はしっかりしているが、従業員への加工技術確立前に社長が自損事故をおこし入院したため、一時休業となった。

野方インター前の町有地の購入・用途目的は何か

稲留議員

定住化促進のための住宅政策について、野方イ

ンター前に、約4haの町有地があるが購入目的と用途は何か。

企業誘致目的に購入した

町長

平成22年度に企業誘致目的に購入した。物件情報や立地条件等の紹介を行ってきた。

分譲する考えはないのか

稲留議員

野方インターができ、交通の便が良くなり、近隣自治体へのアクセスが大変良い環境ができた。土地を分譲する考えはないのか。

現在のところ分譲地として開発予定はない

町長

インターチェンジに近い立地条件であり、広大な敷地物件であることから、これまで複数の企業から問い合わせをいただいている。引き続き企業誘致用地として活用を考

ての開発予定はない。

東串良町の定住分譲政策への称賛の声が多いが

稲留議員

東串良町は第5次分譲を開始している。町外からこれまで100世帯約370人が入居されている。佐賀県、京都府、岐阜県、宮崎県など、年齢も30歳代が約4割、20代、40代が6割を占めており、本町からも称賛の声が多いがどう思うか。

課題は農地法の壁である

町長

東串良町の分譲は大変有名になっている。本町もいろいろ用地選定しているが一番の課題は農地法の壁である。最終的には分譲は必要との思いはある。分譲について、できるところがあれば積極的に乗り出していく。

※法定外繰入とは、国保財政の赤字補てんなどのために、やむを得ず一般会計から繰り入れるもの。

次期町長選の出馬について問う

5期目も引き続き挑戦したい



吉原 信雄 議員

でもらえるよう努力する。また、雇用や人口増対策、住民の利便性の向上など実現のため、次回も挑戦したい。

農林水産業の振興を図る取り組みなど課題は山積している。

本町の活性化への今後の課題は

吉原議員

本町の活性化にとつて、今後ますます力を入れなければならぬ課題等についてどのように認識しているか。

課題は山積している

町長

活性化へ向けた課題として、本町へ定住を促進し、人口減少に歯止めをかけるための施策の実施や、健康増進対策は健康寿命に注目し、長期的な期間と職員の知恵を集結して取り組む。また人命を守る防災・減災対策、

5期目も引き続き挑戦したい

町長

県による整備中の県立有明高校跡地の大隅スポーツ合宿拠点施設を中心に、「陸上競技の聖地、大崎」の実現と「スポーツの町、大崎」を認識し

果たす役割は大きい

町長

畜産技術員は農家への指導・助言など果たす役割は大きい。技術指導については定評があり、畜産農家からも全幅の信頼が寄せられていることから、その手腕をいかんなく発揮してくれるものと思う。

今後の育成・確保策は

吉原議員

畜産行政を担って立つ技術者の育成を急ぐ必要があると考えるが、町長の認識と、今後の育成と確保についてどう考えているか。

時期的なことを考慮し検討していく

町長

畜産技術員は本町にとつて欠くことのできない存在であると認識している。今後の育成・確保については時期的なことも十分に考慮しながら検討していく。



中央運動公園の利用状況

中央運動公園の利用状況はどうか

吉原議員

中央運動公園は、利活用となる施設整備に費用対した費用に対し、利用状況の物足りなさを感じるが、町長として現状の利用状況をどのように認識しているか。

全体的には利活用されている

町長

平成22年度から25年度にかけて駐車場の整備や芝の張替え、管理棟の建設など整備してきたところである。利用についてはグ

野球場として整備する考えはないか

吉原議員

中央運動公園は、ふれあいの里公園の整備により、利用者がますます減少すると想定される。また、過去にスーパースタジアム構想の一環として野球場整備についても検討を行った経緯があるが、利活用促進にあたっては、野球場として整備する考えはないか。

現在のところない

町長

日ごろの練習などでは、これまでどおり活用されていくと考える。野球場として整備する考えは現在のところないが、今後、野球ができる環境整備については検討、あるいは勉強していきたい。

町長の災害に対する認識を問う

人命・財産を守る事が第一



中山 美幸 議員

昨年4月、大地震に見舞われた熊本県南阿蘇村、益城町、また大きな避難所となったアリーナや仮設住宅の現状を見てきた。自然災害の大きな力に驚き、予防対策の重要性について認識した。防災は、住民、消防団、ボランティア、企業、行政など多くの担い手の共同作業である。災害対応は経験値が豊富であれば、それだけ良い対応ができる。このとき、防災意識の根底には、個人が持つ経験値が関係するだろうと推察できる。そこで長い職員

としての経験と町長としての経験から、特に自然災害に特化した認識を問う。

第一に地域住民の生命や財産を守る事

町長

自然災害は、暴風、豪雨、洪水、地震、津波、噴火などにより人命や人間の社会的活動に被害を生じる現象であり、勢力や規模が強まる傾向にある。町としても防災・減災の対策に努めているところである。第一に総合的な防災計画の作成、第二に防災体制の充実、第三に要配慮者への配慮、第四に地域防災力の向上、第五に被災者のニーズを踏まえた速やかな災害復旧・復興の推進を基本方針とし地

域住民の生命や財産を守るために積極的に取り組んでいく。

施政方針では防災対策について一言もない

中山議員

町長の施政方針演説の中に、防災という言葉が何回出てきただろうか、人命という言葉が何回出てきただろうかと考えた。一丁目一番地が住民の命・財産を守るとの認識であれば新年度予算に計上すべきではないか。

補正予算で対応する

町長

昨年の台風災害もあつたが復旧措置は当然国県の補助を得るわけであるが、補助対策を講じながら防災・減災で地域の安全を守るとい

とで取り組んできている。当初予算に反映されていない部分もあるが補正予算等で大方取り組んでいる。29年度当初予算そのものには災害に対するものは計上できていないので、対策としては補正予算で対応していく。



排水路から噴き出す雨水

三文字地区防災対策の進捗状況を示せ

中山議員

以前の一般質問で、「治山治水事業総合流域防災事業対策にあたっており大きな地震がない限り大

丈夫。」「防災計画を見直し町民が安心して安全な街を目指す。」と町長は答弁している。すでに2年が経過し目に見えて進んでいない。この三文字地区住民から出された請願三文字地区防災対策に対する進捗状況を示せ。

平成29年度から随時整備する

町長

平成27年7月雨水対策に関する検討会を設置。平成28年8月に雨水排水調査業務を実施した。調査の結果、調整池は効果は望めるが調整池を上流に設置した場合築堤決壊等新たな災害が危惧されるため、三文字地区に流入する雨水排水を上流部で分水する対策が有効と思われる。県道は県により上流部で分散する設計委託を実施している。既存側溝の改修は、農協前通り下流部から29年度随時整備する。防火水槽設置については消火栓設置

で計画、避難用の防犯灯については国の補助事業で対応できないか検討を進めている。

本計画の完成時期はいつか

中山議員

なるべく早い時期に完成しないと、5月、6月には集中豪雨の発生による災害の可能性もある。いつ完成するのか。県道の分水については効果は期待できるのか。

平成29年度から5年計画で実施する

建設課長

県道の分水は県の事業として測量設計、用地買収を含めて29年度開始である。さらに、仮宿地区の排水路と道路改修歩道設置までを県に要望している。町でやる事業は地方改善施設整備事業を受け第1期工事では農協の西側通りとその支線、第2期工事は農協東側通りとその支線の工事を5年計画で実施する。

議会のうごき

県内事務調査

1月30日、薩摩川内市のスポーツ交流研修センターにおいて、スポーツ合宿誘致とスポーツ交流研修センターの取り組みについて、研修を行いました。



スポーツ交流研修センター（薩摩川内市）にて

研修では、現在、有明高校跡地に大隅陸上競技トレーニング拠点施設整備事業として、陸上競技のトレーニングに特化したスポーツ合宿拠点施設が整備中であることから、薩摩川内市において平成24年11月から共用開始されているスポーツ交流研修センターの利用状

況や様々な誘致活動の状況、また、誘致活動や管理等に要する経費等について、担当職員から説明を受けました。その後、施設の視察を行い、最後に意見交換を行いました。

町村議会議員研修会

去る1月31日は、県町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が、鹿児島市のウエルビューかごしまで開催されました。



ウエルビューかごしまにて

研修では、「これからの防災・危機管理」～個人の備えと組織の対応～と題して防災・危機管理アド

バイザー 防災システム研究所 長 山村武彦氏による講演と、「不良長寿のすすめ」と題して順天堂 大学名誉教授 奥村康氏による講演が行われました。

大隅地域市町議会議員協議会研修会

2月13日、大隅地域の市町議会議員協議会の研修会が、鹿屋市で行われました。

今回の研修会では、三反園県知事による平成29年度当初予算の概要説明が行われるとともに、「大隅地域の市町議会の活性化について」と題して全国市議会議長会 調査広報部副部長 本橋謙治氏による講演が行われました。

町村議会議長会定期総会

2月21日、第68回鹿児島県町村議会議長会定期総会が、ウエルビューかごしまで開催されました。総会は、会長あいさつに始まり、来賓祝辞として、三反園県知事、池畑県議会議長及び川添県町村会会長3名のあいさつがありました。

その後、鹿児島県と全国それぞれの町村議会議長会による自治功労者表彰が行われました。

議事に入り、平成27年度決算の承認、平成29年度事業計画（案）及び予算等の提案説明があり、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

最後に、住民の代表機関として町村の最終意思決定を預かる議会の役割と責任を自覚するとともに、総力を結集して、地方創生の推進、農林水産商工業振興対策の推進、町村議会の更なる活性化等11項目の実現を期するための議決案が提案され、全会一致で採択されました。

研修による議会の来町

●2月1日長島町議会が、PFI事業に関する研修のため、議員11名、議会事務局職員3名、合計14名来町されました。

●2月1日熊本県美里町議会が、中学校の統合に関する研修のため、議員4名来町されました。

●2月8日熊本県水川町議会が、議会広報誌に関する研修のため、議員5名、議会事務局職員1名、合計6名来町されました。

新しい議会の 構成決まる

第1回臨時会

平成29年第1回臨時会が、5月1日に開会されました。議長をはじめ、各常任委員会委員等が選任され、後期の新しい議会構成が決まりました。

議会運営委員会

- 委員長 長重 信雄
- 副委員長 吉原 美幸
- 委員 中山 昭一
- 委員 中倉 広文

■曾於地区介護保険組合 議会議員

- 稲留 光晴

■大隅曾於地区消防組合 議会議員

- 中倉 広文

■曾於地域公設地方卸売 市場管理組合議会議員

- 中倉 広文

広報公聴常任委員会

- 委員長 吉原 信雄
- 副委員長 児玉 孝徳
- 委員 中山 昭一
- 委員 宮本 幸徳

■各常任委員の選任

- 議長 小野 光夫
- 副議長 神崎 文男
- 総務厚生常任委員会
委員長 児玉 孝徳
副委員長 宮本 昭一
委員 長重 充輝
委員 中山 昭一
委員 上原 正一

■監査委員

- 諸木 悦朗

■曾於南部厚生事務組合 議会議員

- 小野 昭夫

- 文教経済常任委員会
委員長 中倉 広文
副委員長 稲留 光晴
委員 中山 昭一
委員 神崎 文男
委員 木崎悦朗



副議長 神崎 文男



議長 小野 光夫

文教経済常任委員会



副委員長 稲留 光晴



委員長 中倉 広文



委員 神崎 文男



委員 中山 美幸



委員 諸木 悦朗



副委員長 宮本 昭一



委員長 児玉 孝徳



委員 中倉 毅



委員 長重 充輝



委員 吉原 信雄



委員 上原 正一

総務厚生常任委員会

私の想い

【楽しいサロン】



さわやか会
代表(平成28年度)
黒丸 須美恵

中滞留のサロンさわやか会が出来て、早くも5年目にはいり、近頃皆さん益々若返り、生き生きと月1回の集まりを楽しみにしていらつしゃいます。最初は20名あまりの中、男性は1名でしたが、28年度は3名も加入して頂き本当に心から楽しめる会になりました。途中入所されたり、子どもさんのところへいかれたりと淋しい事もありましたが仕方ないことだと思います。

当日は皆さん時間より大分早く来て、それはもう賑やかなこと、あちらでワイワイこっちでワイワイ

イまるでハチの巣をつついたようです。時間になり、「語いといやつたけく？」で始まりです。まず身体を思いっきり伸ばすア



さわやか会のみなさん

イウエオ体操からストレッチ、歌いながらのお互いの肩たたきの後、ゲームや室内グラウンド切り紙、玉入れ等楽しい事盛沢山です。先月は室内カーリングが大変うけました。その後のお茶のみは世話役さんの腕のみせどころ、またまた大さわぎ…

12月の集落の親子会のみなさんとの交流会は一大行事です。1回

目はクリスマス会でした。お母さん達の手作りケーキ、子どもさんたちのきれいな部屋飾りや楽器演奏、歌等で会員大喜びでした。昨年未は餅つき大会、昔ながらの杵つき、若いお父さんの見事な手水にビックリ、皆拍手大喝采でした。つきたて餅は早速炭火で焼いたり、善哉ぜんがいにして頂き大満足でした。

このような私たちのさわやか会ですが、これからも同じ地域に住んでいる限り、いつまでも続けていけるよう皆さんとともに、楽しい集まりにしたいと話し合っています。



クリスマス会の様子

編集後記

新年度が始まり、早いもので5月中旬となりました。小さかった稲苗も緑が日々濃くなり、季節の移り変わりと成長を感じているところですが、好天に恵まれ無事収穫を迎えられるようお願いしています。

さて、広報委員は2年毎の任期ですので、この広報委員による編集は最後となります。広報広聴常任委員会では、読者にとつて分かりやすく、より身近な議会だよりとなるように文章の構成や編集作業等に努めてまいりました。

次号からの編集は、新しい広報委員にバトンを渡しますが、引き続き町民に開かれた議会を目指すとともに、親しみのある議会だよりを発行してまいります。

(諸木 悦朗)

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 稲留光晴 副委員長 諸木悦朗
- 委員 中倉 毅 委員 中倉広文
- 委員 神崎文男 委員 児玉孝徳

発行責任者 大崎町議会議長 小野光夫